

企 画 書

2020年度

2020年度倉吉文化団体協議会国際交流事業案

鳥取県内写真作家との交流親善写真研修会の開催(2020.9.6)

日韓親善写真家交流事業

ウォン・ゾオン - サン写真展 《Freezing Variations》

企画

- 主 旨 鳥取県と韓国江原道は久しく国際交流を続けています。そんな中で、倉吉文化団体協議会と江原道春川市在住写真家とは 2013 年以来毎年のように写真家交流事業を続けて来ました。これまで①チェ・ジスン氏・②シム・サンマン氏・③パク・クァンリン氏・④シム・チャンソプ氏・⑤パク・ミンス氏・⑥ズン・シ・クォン氏をお招きし、国際交流展を開催しました。今年度は「ウォン・ゾオン - サン氏」を招聘し、氏の写真作品を国際交流展として鳥取県倉吉市に於いて開催いたします。それに付随して、**県内の美術家と写真作家の交流親善を図りたいとシンポジウム「写真表現と芸術活動」**を開催いたします。
- 主 催 倉吉文化団体協議会・鳥取県文化団体連合会・倉吉市文化活動センター
後 援 倉吉市・鳥取県中部地区日韓親善協会・鳥取県写真家連盟・中部地区各写真団体・マスコミ各社等へ申請予定
- 開催期日 展覧会期間 2020年9月1日(火)～9月29日(火) 3泊4日
交流会期日 2020年9月5日(土)～9月8日(火) 3泊4日
シンポジウム 2020年9月6日(日) 13:30～
- 展覧会場 倉吉市文化活動センター リフレギャラリー
〒682-0817 鳥取県倉吉市住吉町 77-1 0858-23-6095
- 交流会場 倉吉市文化活動センター2F 第一活動室
- 通 訳 鈴木京花 TEL 090-6437-4980 e-mail:kyokaclub@gmail.com
- 受け入れ 倉吉文化団体協議会会長 計羽孝之
e-mail:figarofigaro@do4.enjoy.ne.jp
担当者TEL090-1351-7574
- 約 束 事 ①会期は1ヶ月間とする。写真展に係る経費(写真のプリント、額装経費等)は主催者で負担。
②鳥取県内写真作家との交流親善写真研修会の開催(2020.9.6)
シンポジウム「写真表現と芸術活動」ウォン・ゾオン - サン氏(江原道写真家協会)
福島多暉夫氏(米子市写真家協会)・未定氏(鳥取市在住写真家)・筒井宏樹氏(鳥大洵教授)
基調提案/コーディネーター/計羽孝之(リフレギャラリー・キュレーター)
③作家が鳥取県を訪問する場合は、渡航旅費は本人負担とする。滞在費等は主催者で負担する。随行者の滞在費は受益者負担とする。また、その期間は下記

の日程とする。

日 程 往路【岡山空港利用】(歓送迎は倉吉文化団体協議会で担当)

2020.9.5(土) 07:30 ソウル発(KoreanAir747)⇒09:00 岡山空港着⇒昼食
(大山柘水高原)12:30⇒大山国立公園・植田正治写真美術館
見学 17:30⇒夕食会(倉吉市内レストラン 18:30)⇒倉吉シテ
ィホテル泊

9.6(日) 11:50 昼食(白壁倶楽部)
13:30 写真展ギャラリートーク
13:45 歓迎ミニコンサート(出演/鳥取オペラ協会ソリスト)
14:00 元貞常(ウォン・ゾン・サン)氏を迎えて交流親善写

真研修会

「写真表現と芸術活動」シンポジウムの開催

(会場/倉吉市文化活動センター1F 第1活動室)

18:30 懇親会(日本料理「飛鳥」)⇒倉吉シティホテル泊

10.21(月) 10:00 塩谷定好写真資料館見学

12:30 昼食(琴浦町) 14:00～船上山交流撮影会(地元写真家
との交流)

18:30 夕食⇒倉吉シティホテル泊

10.22(火) 07:00 倉吉発⇒岡山道經由岡山空港

10:30 岡山空港発便(KoreanAir748 便)で帰国

その他 展示について/キュレーターの指示に従って倉吉文化団体協議会事務局にて額装、
展示する。

招待作家プロフィール

ウォン ゾンサン

元 貞常 写真家 (1955 年生まれ)

学歴:

洪川女子高等学校卒業。韓世大学校、木恵大学院を卒業。翰林聖心大学実技写真修了。祥明大学校教授師事。祥明大学ポートフォリオ修了。

展示会:

2011～2019 現在グループ展 40 回余り

2015 世の中渡る詩と写真展 M2 Gallery 個人展

2015～2017 韓.日韓.中国際文化芸術交流展 6 回参加

2017 'SUN SHINE'仁寺洞 INDEX Gallery 個人展示「春春写真と遊ぶ」テーマ展-INDEX
Galley

2017 写真共感展春川市文化財団企画展示(死の美学:春川市文芸会館)

2017.8 精金民俗博物館作品 10 点所蔵

2018 平昌冬季オリンピック G-50 K-Arist 特別写真展

2018 ソウル ナミブ ギャラリーグループ展示(THE PLAT FORM)

2019 写真的リアリティ(江陵市立美術館/KT&G 想像の広場)

2019 念願 個人展示 (春川美術館)

2019 東江国際写真展示。江原道作家招待展示

2020.3 KBS/2020.6-8.洪川.江陵.原州.春川で展示予定

受賞経歴:

相談ボランティア 国務総理表彰/江原道知事表彰/春川市教育長功労楯

江原観光写真対象:江原道知事(2014)。寧越金賞受賞:寧越郡守(2016)。華川金賞受賞:華川郡守(2013)。横城郡守(2016)／江原日報社社長賞／道民日報社長賞。韓社協功労賞(2018)。江原道文化芸術団体総連合会長賞(2011)。春川聖市新聞表紙写真連載(2016)。YWCA 月刊誌写真連載。文化芸術写真指導者資格証取得(2018)。

作家のコメント 写真展テーマ: Freezing Variations

写真作家 元貞常(ウォン・ゾン - サン) 「氷の変奏曲」

氷点に至る瞬間、水に秘められた数多くの水分子が連結し、氷に変化して行く過程の物語を聞いてほしい。

冬の寒い時期だけに訪ねて来て、まるでパフォーマンスのように姿を表わす氷結独特の結晶体と、そのパターンの絶妙な組み合わせを見せ、誰も見たことのない私の内面にある秘密の結晶体を顕在化して見せる。

昭陽江の夜明けは芸術的だ。数多くの氷結晶が集まって氷の飛礫をつくる。その結晶体に盛られた偶然の美が連結し、様々なバリエーションを造るのだから。

氷が空気に触れて、ぐつぐつと気泡を生じ、透明な氷の中には、空気の泡が星になったり、時にはミステリー・サークルのようになりもする

凍てついた落葉の遊泳に出会う時、春の花より美しい氷の華に驚嘆し、その身に戦慄が走る。カチカチに凍った昭陽江は、生命の宇宙を抱いて、静かにうごめきながら水分子の連結の物語りを語っている。ゆらゆらしていた川面が凍って、人生の軌道を描く～まるで私の年輪のように～

春川の昭陽江で、氷の新しい姿に出会うたびの喜悦と感動、その興味深い美の発見の喜びに、これまでの厳しい寒さは、苦にならなかった。夜を通して絵を描き続けた私のアトリエから、氷の世界に出会うため、今日も末明に出掛けよう！